

# 研修部だより

令和8年1月発行



TEL 0248-42-4114

FAX 0248-44-4553

E-mail noutan.kensyuu@pref.fukushima.lg.jp

新しい年を迎えました。

今年度も残すところ3カ月を切りました。研修部では、新年度の研修計画が着々と策定されています。また、1～2月には、農業機械の研修や公開講座が開催されます。今回のたよりでは、令和7年10～12月の様子をトピックスで紹介します。

## 就農研修

- ・長期就農研修 ～研修生奮闘記～



## 農業機械研修

- ・安全運転技術総合コース ～大型特殊操作（農耕車限定）研修～
- ・技術向上コース ～トラクタ操作技術向上研修～
- ・スマート農業研修（ドローン研修）の取り組み
- ・現地で学ぶ農作業安全



## 農産加工研修

- ・基礎コース（秋）～夢を実現しよう！～
- ・応用コース（長期保存食品）～レトルト加工～
- ・食品素材活用コース（トマト②）～栄養たっぷりトマトを周年活用しよう！～



気になる研修がありましたら、まずは農業短期大学校（アグリカレッジ福島）のホームページをCHECK！気軽にお問い合わせください。



アグリカレッジ福島の今をインスタグラムで発信中！

研修部でデキル 



## 長期就農研修 ～研修生奮闘記～

昨年4月に始まった令和7年度長期就農研修は、残りわずかとなりました。研修生は、農作物の栽培技術習得はもちろんですが、研修部主催農業機械研修で、農業機械の基本操作等を学ぶ人や、農業経営・就農支援センター主催アグリビジネススクールで農業経営の基本を学ぶ人など、それぞれ就農に向けて必要とされるスキルを身につけようと奮闘しています。

各研修生の「声」は、「アグリカレッジ福島 長期就農研修 Newsletter」に掲載しています。こちらも併せて御覧ください。

また、令和8年度以降の長期就農研修に関心がある受講希望者を対象に、現地見学を随時受け付けております。

令和8年度長期就農研修の募集期間は、令和7年12月1日～令和8年1月20日までですが、募集期間終了後も現地見学は随時実施する予定です。

研修の受講を迷っている方は、情報収集の一環として現地見学をしてみたいでしょうか。



長期就農研修の様子です。



トラクタ操作技術向上研修へ参加し、講師へ積極的に質問する研修生



長期就農研修現地見学の様子



ハクサイへのかん水作業



サトイモ収穫作業



## 農業機械研修 安全運転技術総合コース ～大型特殊操作（農耕車限定）研修～

第1回10月14～16日（原則3日間参加）から最終回（第5回）の12月2～4日まで、アグリカレッジ福島の運転練習コースで、農耕車限定大型特殊免許取得を目指している認定農業者や県内で農業に従事している方40名を対象に、本校職員が指導しました。

本研修では、公道でトラクタを安全に走行させる技術や安全な車庫入れの方法を練習しました。また、講義では、福島運転免許センターで実施する検定コースの説明等安全知識を学びました。

受講者からは「実践を意識した説明が良かった」「何度も乗車できて良かった」といった声が寄せられました。

なお、今年度の大型特殊操作研修は全て終了しました。



### 大型特殊操作（農耕車限定）の様子



車庫入れの練習



踏切での安全走行



## 農業機械研修 技術向上コース

### ～トラクタ操作技術向上研修～

第1回11月5～6日、第2回11月19～20日、第3回12月10～11日と合計3回にわたり、株式会社 ISEKI Japan から講師を招き、農業者22名が参加しました。

本研修では、トラクタ及び作業機の点検整備のポイント及びロータリー耕の基本を学び、操作技術の向上を目指しました。さらに、本校の水田で、自動操舵トラクタを試乗することにより、農作業の効率化が図られることを体験していただきました。

また、講義では、RTKを活用した技術及び農作業安全について学びました。

受講者からは「メンテナンスの重要性を学べた」「ロータリー耕の基本操作や着脱方法が学べて良かった」といった声が寄せられました。

なお、今年度のトラクタ操作技術向上研修は全て終了しました。



### トラクタ操作技術向上研修（農耕車限定）の様子



トラクタの整備点検



自動操舵（直進アシスト）トラクタ試乗



## 農業機械研修

### スマート農業研修（ドローン研修）の取り組み

今年度より、農業機械研修でスマート農業についての研修を行っています。令和7年11月7日（金）・12月1日（金）には、「ドローン取得促進特別研修」を行い、農業者が14名参加しました。

今回の研修は、農業の効率化・省力化に有効なドローンの普及を進めるために、ドローンの基礎知識を習得し、実際に操縦を行うことで、技能認定資格取得に必要な技術の習得を目指す内容になっています。

この研修は来年度も予定しており、日程等は決まり次第、当校HPにてお知らせいたします。ご興味ありましたら4月以降、HPをご確認いただければ幸いです。ドローンの操縦体験ができるよい機会になるかと思えます。

なお、この研修は、ドローンの技能認定資格取得に必要な技術の習得が目的であり、受講をもって資格は取得できません。



#### ドローン研修の様子



講義



操縦体験



農薬散布のエリア設定



## 農業機械研修 現地で学ぶ農作業安全

農作業の事故防止を啓発するため、要望に応じて、現地で本校職員が日々の農作業安全についての講習を行っています。

農業機械での事故は、農作業事故の約6割を占めるため、農業機械を使った作業では特に注意が必要です。

研修部では、農作業安全についての座学のほか、刈払機の安全操作や点検整備などの実演指導、安全保護具の紹介を行っています。

講習の依頼は、随時受け付けております（要相談）。



### 現地支援研修の様子



講義の様子



刈払機整備点検



刈払機の安全な操作の実演



## 農産加工研修 基礎コース（秋） ～夢を実現しよう！～

9月11日～10月22日にかけて、4回の講座を開催し、14名の方が参加しました。  
第3回目の10月3日は、瓶詰め・袋詰めの演習。そして、第4回目の10月22日は、優良事例紹介や加工所運営に関するSWOT分析を行いました。

基礎コースは、これから開業する方、開業後間もない方が研修を通して、安全な食品加工について理解を深めることを目的としています。

令和8年度も農産加工基礎コースは春と秋の2回開講します。演習を多く盛り込んだ内容になる予定です。



### 基礎コース秋（10月開講）の様子



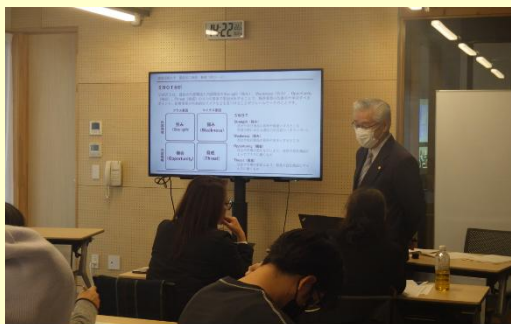
第3回目瓶詰め・袋詰め演習



食品添加物の計量



第4回優良事例紹介（アグリ工房ひらくの大見氏と（株）フルーツのいとう園の伊藤氏）



第4回加工所運営研修（オフィス・ハーグの佐藤氏）



## 農産加工研修 応用コース（長期保存食品） ～レトルト加工～

11月18日、レトルト殺菌による長期保存食品の加工研修を行いました。

現在、レトルト食品は、日常の食生活になくてはならないものの一つ。専用の調理機器（真空包装機・レトルト釜）が必要ですが、自分が栽培した農産物を商品化する際の商品構成や現在、販売している商品の長期保存化などを検討する契機として、レトルト加工に取り組みました。

当日、受講生からブロッコリーの差し入れがあり、急遽、ブロッコリーの芯を含めてF4相当の加熱殺菌を行い、簡単なペーストを作成しました。

演習では、ミートソースと鯖みそを加工し、鶏の照り焼きとごぼう煮を試食しました。

ごぼう煮は、あく抜き後、調味液と一緒に真空包装しF4相当の加熱処理をただけのものです。噛まずともほぐれ、味がしみ込んでいる状態に驚きの声があがりました。

レトルト加工研修は、来年度も継続して実施する予定です。



### 応用コース（長期保存食品）の様子



レトルト用袋への詰め込み



詰め込み作業の様子




## 農産加工研修 食品素材活用コース（トマト②） ～栄養たっぷりトマトを周年活用しよう！～

11月7日、県産農産物の素材活用をテーマにトマトの加工研修第2回目を実施しました。6月に開催した1回目では、トマト加工品のJAS規格を理解し、トマトピューレー加工と、それを使用した和風ジュレの加工を行いました。

第2回目の今回は、トマトピューレーをさらに濃縮しトマトケチャップへの加工とそれを使用したピザパン、さらに、ドライトマトを使用したスコーンの加工を行いました。

トマトケチャップは、砂糖を添加する前に味見を行い、『甘いっ』『濃厚』などの声があがりました。

研修部でデキル 



本県はトマトの生産量全国8位（令和5年度）。トマトは栄養豊富で、濃縮することでさらに栄養成分が豊かになります。冷凍保存ができるので周年での利用が可能となります。

今回参加された受講生から、新たにトマトケチャップなどへの商品化の取組が開始されました。今後、加工技術を持った方が一次加工、二次加工へとつなげ、県内各地で、トマトの製品が誕生することを期待します。



## 食品素材活用コース・モモの様子



研修の様子



濃厚なケチャップ！



ケチャップを使用したピザパン



スコーンが焼けています！

### Information

お知らせ

## 研修等のご案内

今年度のアグリカレッジ福島（農業短期大学校）において開催される研修等の募集は終了しました。

令和8年度の研修については、3月下旬頃を目途にアグリカレッジ福島のHPでご案内します。

### 研修部長Nのつぶやき

今年は午年。十二支の7番目にあたり、躍動・成功・行動力を象徴し、新しい挑戦や飛躍に良いとされる年です。研修部では、主催研修を通じて皆さんの新しい挑戦のお手伝いをさせていただきますので、今後とも宜しく願いいたします。

新年度の研修計画が出来ましたらホームページにアップします（3月頃）。新しい研修も予定していますので楽しみに！



研修部でデキル